

HIF-PH阻害薬の概要

- 低酸素誘導因子（Hypoxia Inducible Factor：HIF）は低酸素条件下で転写因子として働き、エリスロポエチンやVEGFなどの発現を誘導する
- 通常の酸素条件下ではHIFはHIF-プロリン水酸化酵素（HIF-PH）の作用を受け恒常的に分解されている
- HIF-PH阻害薬はHIF-PHを阻害することで酸素条件に関わらずHIFを安定化し、貧血と鉄動態を改善する

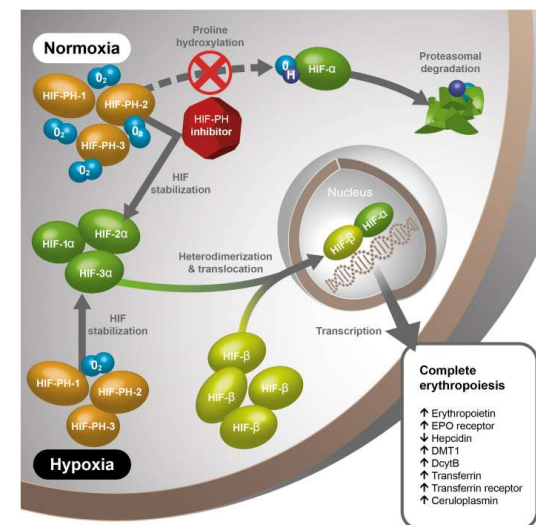


Figure 1. Hypoxia-inducible factor (HIF) pathway.

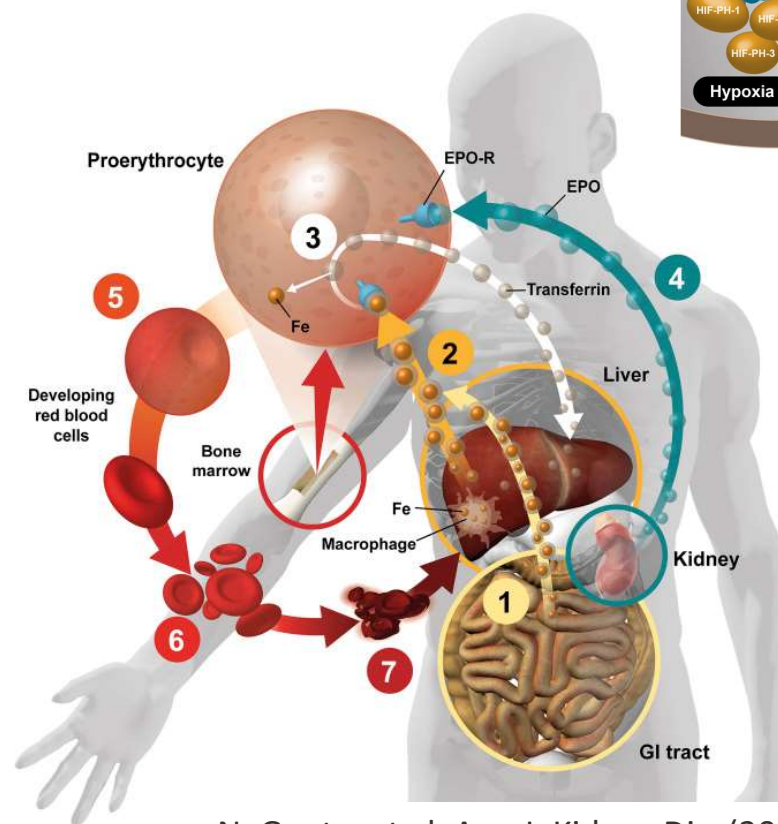


Figure 2. Erythropoietic effects of hypoxia-inducible factor (HIF).

HIF-PH阻害薬を使用する際の注意点

- 以下の合併症のリスクを評価し、HIF-PH阻害薬適応の可否を慎重に判断する
 - 悪性腫瘍、網膜病変、虚血性心疾患、脳血管障害、閉塞性動脈硬化症、深部静脈血栓症など
 - ESA抵抗性がある場合はその原因検索を行い、原因不明または対応が困難な場合にHIF-PH阻害薬への変更を考慮する
-
- 高用量のESAからの切り替え直後にHb値の低下が認められることがあるため、Hb値の推移を観察し用量の調節を行う
 - 鉄を十分に補充し、フェリチン < 100 ng/mL または TSAT < 20 % の状態にならないようにする
 - 悪性腫瘍および網膜出血のリスクが高い患者では定期的な検査を行う
 - 肝機能障害、血栓塞栓症、肺高血圧症、腎嚢胞の拡大などに注意する